

Public Information

市報

2006
January
第10号

1



にいいみ



●p2～5

新成人「ふるさとのが好き」

●p16～17

みんなの広場【ひとこと・Across Borders・風の便り…】

●p18～21

まちの話題【親子交流会…】

●p22～23

はつらつ健康広場【コラム・検診日程・休日診療…】

●p24～27

おしらせ

●p28

HAPPY BIRTHDAY

ふるさとの

新生新見市の新成人が語る

ここが好き

昨年3月31日、新しい新見市が誕生し、その歴史を刻みはじめました。

今回は、新見市の未来を担う新成人の代表5人に、「ふるさと」についてのメッセージをいただきましたので紹介します。

冬の千屋



私

が生まれ育った千屋は、高梁川の源流に広がり、

美しい自然に恵まれ、四季折々の風景を楽しむことができます。特に千屋の冬は雪深く、冬の生活は厳しいですが、雪景色はとても壮観です。私はそんな素晴らしいところで、地域の人々に見守られながら育ちました。

私の通った小中学校は小規模校ということもあって、地域の人々とたくさん交流を重ねることができました。お年寄りには千屋ならではの話を聞き、遊びなどを教えてもらいました。

私はこんなふうに温かい人々と触れ合える千屋が好きです。私たちは素晴らしいふるさとの伝統をいつまでも忘れずに受け継ぎ、次世代へ伝えなければなりません。

今私は大学で勉強しています。これから学外実習も始まり、行

き詰まることもあると思います。そんな時は、千屋の風景、温かく見守ってくれた家族や地域の方を思い、がんばりたいです。そして卒業したら、ふるさとの役に立てるような仕事に就きたいと思っています。



た えだ ゆ か
田枝由佳さん
(千屋実)

やまかわ

山川いずみさん
(大佐田治部)

私

は今、専門学校で医療技術を学ぶために大佐から離れて生活していますが、私が育った大佐は人情の厚い、美しい自然に恵まれた町です。

大佐は「風の町」をキャッチフレーズに、昔から風あげ大会やハンググライダー、パラグライダーなどのスカイスポーツが盛んに行われてきました。また、大佐山にはプールや温泉、キャンプ場やゴルフ場などたくさん

の施設もあります。その他にも県指定史跡の「方谷庵」やオベリスクのある「方谷園」もあり、最近では「山田方谷記念館」も設立されました。

このような大佐の町で育った私ですが、地元から離れ、知らない土地で暮らし始めて改めて大佐の良さに気付いています。たとえ知らない人でも温かく迎え、支え合えるのは田舎ならではであると思います。私を育ててくれた、大好きな大佐。二十一年間のたくさんの思い出は、いつでも私のことを支えてくれます。辛いことがあっても大佐に帰れば、いつでも家族や友達、近所の皆さんの笑顔が迎えてくれるので、私は頑張ることが出来ます。いつまでも変わらず人情深く、温かい故郷であってほしいと思います。



大佐山から望む日の出

神郷三室峡の紅葉



自分は学生で今は倉敷に住んでいます。倉敷での生活も慣れて二度目の冬を迎えました。この季節を迎える度に思い出すのが、実家の雪に包まれた庭の様子です。

深い雪に覆われて、身動きのとれない程の閉塞感さえ覚えるのですが、なぜかそんな雰囲気の中にも「ほんわり」とした気持ちになるのは何故なのかと思います。きっとそれが家庭の温もり、ふるさとの温もりだと感じるので。

確かに生活にとって雪は厄介な存在ですが、「帰ってきたい」と思うのは、大自然の中にゆったりと時間が流れて、人々に一息つかせるのどかな雰囲気を醸しだしている故郷が、自分を落

ち着かせてくれるからだと考えます。

コンビ二も遊べる場所も少ないけれど、都会にはない緑と清流と大らかな人々と人情のある故郷新見が大好きです。離れて分かるふるさとの良さを実感しながら、自分の道に向かって頑張りたいです。

まつ だ まさ ひで
松田真英さん
(神郷高瀬)



やま ぐち やす あき
山口恭明さん
(哲多町田淵)



僕は、哲多町田淵に住んでいます。この町の好きなところは、自然が豊かなことと、近所に住んでいる人々のことです。

まず、なぜ自然が好きかというと、春夏秋冬に見せる様々な景色が美しいからです。春は桜や草花、夏は青く茂った木々、

秋は夏に青く茂っていた木々の紅葉、冬は雪景色などが美しいので好きです。そして夜の星空は、他の町で見るよりもとても綺麗な好きです。

次に、どうして近所に住んでいる人々が好きかというと、困っている時などにいろいろなアドバイスをくれるからです。他にも、たまに様々な物をくれたりします。現代の社会ではあまり見ることのできない風景があるので好きなのだと思います。僕はここが好きなので、一生ここで住もうと思っています。今、大学で福祉のことを勉強しているので、この町をもっと福祉的に豊かな町にしていきたいと思っています。

哲多の金ボタル



私は今、熊本の大学で微生物の勉強をしています。私が育ったのは、周りを田畑や山に囲まれた旧哲西町です。小さい頃は近所に友達や同級生が多かったのですが、学校の行き帰りはもちろん、休みの日などは虫取りやかくれんぼ、魚釣りなど自然の中でいつも一緒に遊んでいました。新見は熊本に比べ、自然が多く四季がはっきりしているのです。川遊びやスキー、りんご狩りなど様々な体験が出来ます。恵まれた環境で過ごせたことを、ありがたく思っているところです。

また、家族はもちろん地域の方々や先生方など、色々な人達のおかげで成人式を迎えることができて、感謝しています。久し

哲西の鯉が窪湿原



たかはし けんこう
高橋憲公さん
(哲西町畑木)

ぶりに会う友達をはじめ、出会った人達が声を掛けてくださいます。「久しぶりじゃなあ。元気でやっとなるん?」
こんなふるさとを大切に思い、いつまでも変わらないことを願っています。

新見市報道委員会から新年のごあいさつ

中国の思想家・孔子の高弟で、孝行の元祖ともされる曾子に、次のようなエピソードがあります。

曾子と同族の一人が、殺人を犯した。ある人が誤解して、曾子の母に「曾参が人を殺したよ」と告げに来た。しかし曾子の母は「私の子は、人を殺したりはしません」と答えて、平然と機織を織っていた。しばらくして別の人が「曾参が人を殺しましたよ」と告げた。しかし母は、平然と機織りを続けていた。またしばらくすると、別の人が「曾参が人を殺しましたよ」と告げた。母は驚いて杼（織機の部品で糸を通す用具）を投げた。塀を飛び越えて走っていった。このエピソードからいろんなことを考えさせられます。

孝行息子を信じきっていた母でさえ、たび重なる「曾参が人を殺したよ」という誤った情報に心を動かさ

情報化社会の中で



とだ ひろし
新見市報道委員長 **戸田 博**

新見市報道委員会委員

戸田 博(上熊谷・委員長)
中田 陽子(神郷油野・副委員長)
古屋 和夫(正田)
村澤江美子(千屋)
小川けい子(哲多町田淵)
藤井 明美(大佐田治部)
長岡 加子(新見)
杉 一夫(井倉)
沖田 恵子(哲西町八鳥)
橋本 直人(新見)
宮田 恵介(新見)
串馬 邦夫(市議会総務常任委員長)
角川 宣行(市企画課長)

れ、自分を見失ってしまったのです。

新聞・テレビ・ラジオなどはもちろん、パソコンや携帯電話の普及によって、情報量はどんどん増大してまいりました。情報化社会はさらに進展していくことでしょう。こうした状況の中で、情報は、われわれ人類が幸せになるために、緑なす地球が永遠に存続していくために活用すべきものである、ということをしつかりと念頭に置き、情報に対して主体的な姿勢を失わないように心掛けることが、今後特に重要となってくるかと思われまふ。

情報を発信する側として、報道の在り方を常に検証しながら、広報活動に取り組んでまいりたいと思います。

この度、新年号の企画として、新見市の新成人のみなさんに「ふるさと」を語っていただきました。新見市の明るい未来のため、若い人たちの活躍を期待するものです。



新見市議会議員 榎 日出男

新年あけましておめでとうございます。市民の皆様には輝かしい新春をご家族お揃いでお迎えのこととお慶び申し上げます。

平素から市議会に対しまして温かいご理解とご支援を賜り、心から厚くお礼申し上げます。

さて、近年の社会経済情勢は、少子・高齢化の急速な進展や情報技術のめざましい発展により著しい変貌を遂げております。また、地方分権時代の到来とともに、国においては、三位一体改革の推進を始め多くの分野において構造的な改革が進められておりますが、地方自治体を取り巻く環境は、長引く景気低迷などの影響を受けて依然として厳しい状況下にあります。

こうした中であって、効率的な行政運営を目指し、地方分権の受け皿として、昨年3月31日に新見市と阿哲郡4町が合併して新生「新見市」が誕生いたしました。新生「新見市」には、行財政基盤の充実・強化など多くの課題が山積しておりますが、市議会としましては、時代の変化や市民ニーズを的確に捉えて市政に反映し、合併による効果をできるだけ早期に発揮して、市民サービスの向上を図るとともに、均衡あるまちづくりを進め、市民の皆様が合併して良かった、新見市に暮らして良かったと思えるよう、真の豊かさが実感できるまちづくりを目指して努力して参る所存であります。

また、開かれたわかりやすい議会を目指すとともに、市民の皆様の期待と信頼に応えられるよう議会機能の充実を図り、議決機関としての役割を果たすべく一層の努力を重ねて参る所存であります。

どうか今年も相変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げますとともに、市民の皆様のご多幸を心からお祈り申し上げまして、新年のごあいさつといたします。



新見市長 石垣正夫

新年あけましておめでとうございます。

市民の皆様には、ご家族おそろいで希望に満ちた新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。また、日頃から市政に対しましてご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

昨年は、岡山県で43年ぶりとなる国民体育大会「晴れの国おかやま国体」が開催され、新見市でもソフトボール競技成年女子と6種目のデモンストレーション行事に市民が丸丸となって取り組み、大成功を収めることができました。皆様のご協力に改めて感謝申し上げますとともに、この市民エネルギーをこれからのまちづくりへつなげてまいりたいと存じます。

さて、景気は回復基調にあると言われておりますが、地方ではまだ十分実感できないように思います。また国においては、昨年11月末に三位一体改革の全体像を決定し、国から地方へ3兆円の税源移譲を行うこととしたものの、内容は地方分権の理念からほど遠く、地方を取り巻く環境は依然として厳しい状況にあります。

こうした中、これから本市が歩むべき方向性を示した「新見市総合振興計画」が先の12月市議会で議決されました。計画では、新見市の将来像を「豊かさの実感 安全・快適・情報文化都市にいま」とし、4つの基本目標を掲げております。今後この計画を基本に、財政の健全性を維持しながら、皆様と一緒に都市基盤の整備や地域情報化の推進、農林業や商工業の振興、福祉・医療の充実、教育環境の整備など各種施策に取り組んでまいり所存でございます。

どうか、今年も市政推進に一層のご理解とご支援をお願い申し上げますとともに、皆様のご多幸を心からお祈り申し上げ、新年のごあいさつといたします。

あけましておめでとうございます



新見市総合振興計画などを可決

市議会十二月定例会が十一月三十日から十二月二十日にかけて開催されました。今回提出された議案は、平成十七年度補正予算十一件、条例四十六件、その他、新見市総合振興計画など七件の計六十四件で、いずれも可決されました。

また、九月定例会から決算審査特別委員会で継続審議されていた平成十六年度決算については、旧新見市歳入歳出決算十一件、旧大佐町歳入歳出決算七件、旧神郷町歳入歳出決算六件、旧哲多町歳入歳出決算十一件、旧哲西町歳入歳出決算六件、旧阿新広域事務組合歳入歳出決算四件の計四十五件、および合併後の新見市の一般会計・特別会計・事業会計決算十四件の合計五十九件が認定されました。なお、平成十六年度旧大佐町一般会計歳入歳出決算は、不認定となりました。主なものを紹介します。

補正予算

■一般会計

歳入歳出予算の総額にそれぞれ二十一億三千六百六十一万円を追加し、予算の総額は三百八億八千三百六十九万円となりました。

○ラストワンマイル整備工事費などの情報通信施設整備事業費

……………二十五億七千八百八十三万円

○老人福祉総務費委託料として、地域包括支援センターシステム構築委託料

……………五百六十三万円

○農地を借り受けて農業をする認定農業者へ対する農地はつらつ集積事業補助金など地域農政推進対策費

……………三百三十四万円

○パイオマスタウン構想を策定するための林業施設整備事業費委託料

……………三百万円

○新見千屋温泉株式会社解散により、市へ戻された資本

金および剰余金などを財源に観光施設整備基金として積み立てる費用

……………三千八十三万円

○学校統廃合によるバス停等の整備費補助金

……………九百七十五万円

○アスベスト飛散防止・除去のための小学校管理費・工事費

……………七百六十四万円

○高度浄水処理施設建設のための水道事業会計費

……………一千四百二十万円

条例関係

■新見市財政状況に関する条例

市の財政に関する事項を市民のみなさんに対して公表するため、条例が制定されました。

■新見市立大佐幼児教育センター条例の一部を改正する条例

幼保一元化施設として設置した大佐幼児教育センター業

務の一部変更に伴い、条例の一部が改正されました。

■新見市公民館条例の一部を改正する条例

旧含翠小学校体育館を井倉公民館含翠分館の講堂として使用するため、条例の一部が改正されました。

■新見市火災予防条例の一部を改正する条例

火災に関する警報の発令中における火の使用制限条項の追加、およびボイラーの蒸気管を被覆する遮熱材料から石棉を削除することなどの改正規則が、消防庁から示されたことにより、条例の一部が改正されました。

■市の公の施設管理に関する条例三十九件

地方自治法の改正に基づき、直営または指定管理者制度などに移行することができるよう、市の公の施設管理に関する条例三十八件について、新たな条例の制定、また旧条例の全部改正、一部改正が行われました。

市長室だより



全国的に少子化が進行する中で、子育て支援は重要な課題となっており、新見市においても子どもを安心して産み育てやすい環境づくりに努めているところです。

これまで市民のみなさんの多様なニーズにお応えするため、乳幼児保育、障害児保育、延長保育などの充実に努めてきたところですが、この度、市内の九つの公立保育所の内、特に中心部の新見保育所では入所の希望が年々増加し、待機児童が増加していることから、本年度増築工事に着手したところです。これによって、平成十八年度からは現在の定員の百九十人から二百四十人に増員となり、待機児童解消につながるものと考えています。

また、家庭や地域での子育てを支援するため、

子育て支援の取り組みについて

地域立保育所や放課後児童クラブ・幼児クラブなどの育成支援をはじめ、休日保育、一時保育を実施しています。さらに、地域子育て支援センターを設置し、子育ての相談、情報提供、子育て支援団体などとの連携などにも取り組んでいます。

教育委員会においても、幼稚園での預かり保育の充実、さらに、今後の就学前教育のあり方を研究するため、「幼児教育を考える会」を設置し、幼児保育一元化への取り組みも検討しています。

一方、安全・安心なまちづくりを進め、地域全体で子どもたちを守り育てていくことも重要です。今後、各地域のみなさんとの連携を密にしながら、各種の子育て支援策や環境の整備・充実に一層努めていきたいと考えています。

中

国自動車道大佐SA（サービスエリア）において、ETC専用スマートIC（インターチェンジ）の運営上の課題や整備効果を把握するために行われている社会実験が、三月三十一日まで期間延長されました。今回の延長では、これまでの実験目的に加え、本格導入に向けたコスト削減検証のための監視員削減実験を行っています。上り線、下り線のどちらか片側が無人となるため、機器の故障などの際は、監視員が駆け付けるまでしばらく待つていただく場合がありますので、ご協力をお願いします。

社会実験を成功させ、恒久設置を実現するため、市民のみなさんの更なるご利用と、市外から来られる人への利用呼びかけをお願いします。

なお、冬の大佐地域は、一月から三月にかけて「スノーシュー・トレッキング」、二月十二日の「おこいの雪まつり」、三月の「源流公園芝焼き」など魅力がいっぱいです。

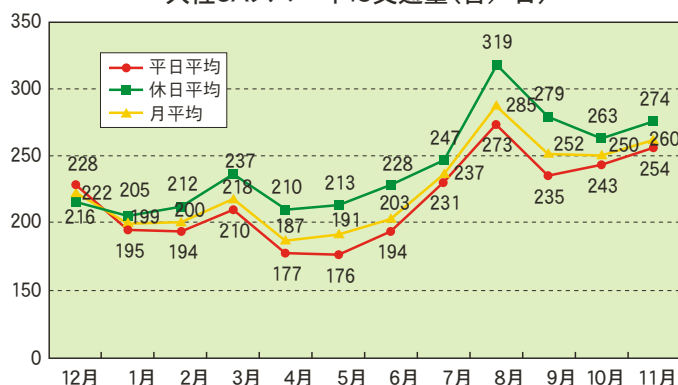
また、風の湯温泉では、同一C利用者の入浴料半額割引を行っています。

大佐地域へおいでの際は、便利で積雪時にも安心な大佐SA

冬こそ安心!

大佐SAスマートIC 3月31日まで社会実験中

大佐SAスマートIC交通量(台/日)



スマートICをご利用ください。これまでの実験期間中の利用状況は表のとおりですが、利用にあたっては次のような制限があります。

- 運用時間
六時～二十二時
- 利用可能車種
軽自動車・普通車・中型車
- 問い合わせ先
企画課企画政策係
(☎ 726114)
- 大佐支局総務企画課企画係
(☎ 982111)

おめでとうございます 大臣表彰



やまおか みちのり
山岡 道則氏

元哲多町選挙管理委員会委員長
の山岡道則氏（哲多町成松）に内閣総理大臣表彰が授与されました。

山岡氏は、昭和五十一年に哲多町選挙管理委員会に選任されて以来、二十八年間の永きにわたり、公正な選挙の執行に尽力されてきました。

昭和五十九年からは、同委員会の委員長に就任され、広い視野に立った均衡ある見識をもつて、国政選挙をはじめ数多くの選挙の管理執行の先頭に立ち、公正な選挙の実現に努められました。

また、委員就任と同時に哲多町明るい選挙推進協議会委員に就任し、昭和五十九年か



あお と てっしん
青砥 哲心氏

らは委員長として、明るい選挙の必要性を広く住民に訴えてこられました。

新見市民生委員・児童委員の青砥哲心氏（法曾）に厚生労働大臣表彰が授与されました。

青砥氏は、昭和五十五年から現在に至るまで、民生委員・児童委員として職務に精励されていきます。

多年にわたり地域社会福祉のために献身的な活動を続けられ、また人権擁護委員活動などにも積極的に取り組まれ、なお地域住民からも高く評価されております。



み た に み よ こ
三谷 美代子氏

今日においては、子育て・福祉に関する相談・問題も複雑化、多様化しており各種団体との協力、連携を図りながら、地域社会の福祉の増進に尽力されています。

三谷美代子氏（正田）に厚生労働大臣表彰が授与されました。

三谷氏は、昭和四十五年の老人福祉施設養護老人ホーム桜丘荘（旧阿新広域事務組合）開設と同時に福祉施設職員として採用され、以後、調理員や寮母などを経験し、三十五年の永きにわたり、高齢者福祉、老人福祉施設の中心的活動を行うなど、高齢者福祉へ大きく貢献されました。

現在も寮母として、後輩の研修や実習生などへ模範となる指導を行い、また食事趣向管理主任として日々献身的に介助支援にあたっておられます。

参加者募集中

1月22日(日) 8:00～ いぶきの里スキー場で開催

新見市長杯スキー・スノーボード大会

第37回新見市長杯スキー大会・第3回新見市長杯スノーボード大会を開催します。
みなさんふるってご参加ください。

- 日時 1月22日(日) 8:00～開会
- 会場 いぶきの里スキー場
「アルカディアいぶき」
- 競技種目 大回転（スキー・スノーボード）

【スキーの部】

- ・少年一部（小学生以下）
- ・少年二部（中学生）
- ・青年の部（高校生以上35歳未満）
- ・壮年一部（35歳以上50歳未満）
- ・壮年二部（50歳以上）
- ・女子一部（小学生以下）
- ・女子二部（中学生以上）

【スノーボードの部】

- ・男子の部（小学生以上）
- ・女子の部（小学生以上）

■参加資格

アマチュアならどなたでも参加可能

■参加費 無料

■表彰 各部門の1～3位

■申込期限 1月17日(火)

■申し込み・問い合わせ先

商工観光課観光振興係 ☎726136



財政状況

シリーズ

(地方税と地方交付税)

平成16年度の財政状況をシリーズでお知らせする第3回目は、収入の大黒柱である「地方税と地方交付税」です。

今回は「地方税と地方交付税」について…

地方税と地方交付税は一般財源といわれ、使途が特定されずどんな経費にも自由に使えるものです。近年は、景気の低迷により年々税収入が減少し、地方交付税も三位一体改革により減り続けています。

地方税とは

地方税は、所得により課税される市民税、土地や家屋などの資産に課税される固定資産税などがあり、市民のみならずから頂いた貴重な財源です。平成十六年度の決算額は、三十二億四十三万円で平成十五年度と比較すると八千百万円減少しています。

地方交付税とは

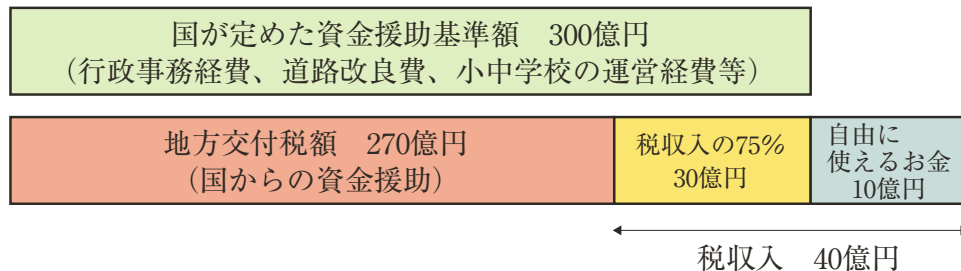
地方交付税は、国民がどこに住んでいても一定水準の行政サービスを受けられるように、地方税収入が少ない自

地方税と地方交付税の関係は

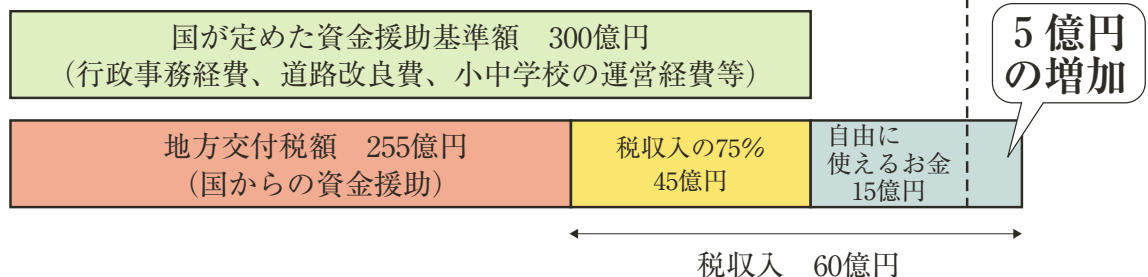
治体に国税の一定割合が交付されており、人口が少なく税収入が少ない本市においては、非常に大切な財源となっています。平成十六年度の決算額は、百十六億七千四百九十三万円で平成十五年と比較すると三億八千七百六十二万円減少しています。

地方交付税は、人口、面積、道路の延長、学校数などを基に積算した額から、主に地方税収入の七十五%を差し引いて算出します。地方税収入の残りの二十五%（留保財源）は、各市町村が特色ある独自の施策を行う財源に使用することができます。地方税収入が増えれば、その七十五%は地方交付税額が少なくなります。二十五%については、財源に余裕があるので税収入を伸ばす努力が必要です。

(例1) 税収入が40億円の場合



(例2) 税収入が20億円増えて60億円となった場合



厳しい財政状況ではありますが、行政運営の効率化による歳出の削減とともに、若者定住、民間企業の活性化など地方税収入を確保できる施策に力を入れ、「豊かさの実感 安全・快適・情報文化都市 にいみ」を実現することができる財政運営に努めていきます。

みなさんのご意見をお聞かせください

新見市行財政改革大綱策定に係る意見募集



案などの公表方法

市のホームページ (<http://www.city.niimi.okayama.jp>) に掲載しているほか、市役所本庁舎市民ホール、各支局窓口、市民センターに備え付けています。

意見や情報の提出方法

郵便、FAX、電子メール ※FAX、電子メールの場合は、件名に必ず「行革大綱意見公募」とご記入ください。

意見の募集期間

一月四日(水)～二十五日(水)
※郵便の場合は当日必着でお願いします。

意見などの考慮および公表

①ご提案いただいた意見などを考慮して、新見市行財政改革大綱について意思決定を行うこととします。
②新見市行財政改革大綱につ

いて、意思決定を行ったときには、提案いただいた意見などに対する市の考え方、および新見市行財政改革大綱案を修正したときには、その修正の内容を今回の案などの公表方法と同じ方法により一定期間公表します。

意見などをいただいた人宛に個別の連絡はいたしません。なお、本手続きは、いわゆる住民投票のような案の賛否を問うものでないため、賛否の結論だけを示した意見などには、市の考え方を示さない場合があります。

意見提出・問い合わせ先

〒七一八・八五〇一 新見市新見三一〇一三
新見市合併・行革推進課
(☎) 6160・FAX 6107・電子メール gyoukaku@city.niimi.okayama.jp

独身男性セミナー参加者募集

市結婚推進委員会では、独身男性の意識改革や積極性を身につけるため、独身男性セミナーを開催します。

なお、3月中旬に計画している「出会いふれあいイベント」には、このセミナー受講者でないと参加できないことになっています。

くわしくはお問い合わせください。

■日時 2月22日(水) 18時～22時

■会場 保健福祉センター

■対象 市内の独身男性

■定員 20人

■受講料 3,000円

■申込期限 1月27日(金)

※参加者多数の場合は抽選とします。

■申し込み・問い合わせ先

農林課農業畜産振興係 (☎) 6133

祝成人 二十歳になったら 国民年金

1月9日(月)は成人の日です。

20歳になると国民年金加入が義務づけられます。若いみなさんは「年金」に関心が薄いかもしれませんが、国民年金は世代と世代の支え合いで成り立っています。私たちの納めた保険料は、受給者の年金として支払われており、自分自身のためだけでなく、社会全体に貢献できる制度です。

また国民年金は遠い将来のためだけでなく、けがなどで重い障害が残ったときの「障害基礎年金」や、子供を残して夫に先立たれたときの「遺族基礎年金」で現在の生活も支えています。

これからの年金制度を支えていくみなさんが、制度について正しく理解することが重要です。

■問い合わせ先

保険年金課国保年金係 (☎) 6123

はじまります 確定申告・住民税申告

2/16~3/15 期限までにお忘れなく

確定申告は、所得税を精算するための申告です。医療費控除や還付申告も確定申告のひとつです。これに対して、確定申告の必要はなくても、市民税・県民税の計算をするために申告が必要な場合があります。この申告を**住民税申告**といいます。

所得税

申告が必要な人

- ① 給与所得者
・ 給与の収入金額が二千万円を超えている人
・ 二か所以上の事業所から給与を受けている人
・ 給与以外の所得が二十万円を超える人（市県民税は二十万円以下でも申告が必要です。）
- ② 年金受給者
・ 年金から源泉徴収されている人



申告に必要なもの

- ・ 年金以外にも所得がある人
- ③ 事業所得などのある人
・ 個人で営業、事業（農業）を営んでいる人
・ 不動産収入、譲渡収入、配当、個人年金などのある人
・ 生命保険などの保険金の満期（解約）所得のある人
- ▼ 申告書が送付されている人は、必ずその申告書と印鑑
- ▼ 給与、年金などのある人は源泉徴収票、支払調書
- ▼ 雑損控除を受ける人は、被害を受けた住宅や家財の明細書、補てん金の明細書など
- ▼ 医療費控除を受ける人は、支払った医療費の領収書と健康保険・生命保険などから補てんされた金額の明細書
- ▼ 社会保険料控除を受ける人は、国民年金保険料控除証明書や国民健康保険税などの支払領収書
- ▼ 寄付金控除を受ける人は、寄付金領収書
- ▼ 生命保険料控除または損害保険料控除のある人は、支払保険料の証明書
- ▼ 住宅取得等特別控除を受ける人は、登記簿謄本、請負（売買）契約書、住宅取得

税金が戻ってくるかも

次に挙げる人は申告すれば所得税が戻ってくる例です。

- ① マイホームを新築・購入した人で、そのための費用を公庫や民間の金融機関から返済期間十年以上で借入れ、現在返済している人
- ② 多額の医療費（所得金額の五%もしくは十万円以上）を支払った人
- ③ 年の中途で退職し、再就職しなかったため、年末調整を受けていない人
- ④ 災害や盗難などにより家財に被害を受けた人
- ⑤ 報酬、配当、年金などからそれぞれ源泉徴収されている人

なお、還付を受けるための申告は、一月から税務署に提出することができます。申告期間中は混雑が予想されますので、早めの申告をお願いします。

問い合わせ先

新見税務署

(☎0951)

市県民税

期間中、申告相談を各地区（別表）で受けます。なお、相談日の当日、仕事やその他の都合で申告できない人は、他の会場でも申告ができます。

申告が必要な人

原則として、平成十八年一月一日現在新見市に住所のある人

▼給与所得者で年末調整を受けていない人、また他の所得のある人

▼国民健康保険加入者（所得

の有無に関わらず必要）

申告に必要なもの

▼所得税申告と同じ

日曜申告相談

今年は三月五日(日)に申告相談日を設けます。

申告されなかった場合は、所得証明書の発行や国民健康保険税の軽減などが受けられなくなります。必ず期限までに申告してください。

■問い合わせ先
税務課市民税係
(☎) 6117



申告相談日程

今年は個人宛に住民税申告のご案内はしませんので、都合のよい会場においでください。

申告受付時間は9:30~16:00です。ただし、山村開発センターは9:00~16:00、午前の会場は9:30~12:00、午後の会場は13:30~16:00ですのでご注意ください。

月日	曜日	本庁管内 会 場 名	大佐支局管内 会 場 名	神郷支局管内 会 場 名	哲多支局管内 会 場 名	哲西支局管内 会 場 名
2.16	木	山村開発センター	大井野地域交流ほっとサロン	神郷保健センター	—	—
2.17	金	山村開発センター	上刑部地域交流ほっとサロン	神郷保健センター	—	—
2.20	月	西方ふれあいセンター	—	—	新砥公民館	哲西支局
2.21	火	井倉市民センター	—	—	新砥公民館	哲西支局
2.22	水	法曾新学生会館（午前） 熊野総合センター（午後）	—	—	新砥公民館	哲西公民館野馳分館
2.23	木	豊永市民センター	—	—	夢ひろば萬歳	哲西畑木集会所
2.24	金	豊永市民センター	—	—	夢ひろば萬歳	三光生活改善センター
2.27	月	土橋交流センター	旧町民センター	三坂いきがい活動センター	—	—
2.28	火	草間市民センター	おおさ総合センター	神郷公民館高瀬分館	—	—
3.1	水	千屋市民センター	おおさ総合センター	神郷公民館高瀬分館	—	—
3.2	木	千屋小学校	田治部中央会館	新郷市民センター	—	—
3.3	金	菅生市民センター	田治部中央会館	新郷市民センター	—	—
3.5	日	山村開発センター	—	—	—	—
3.6	月	上市市民センター	交流センター	—	哲多支局	—
3.7	火	熊谷市民センター	—	—	哲多支局	哲西支局
3.8	水	石蟹ふれあいセンター	—	—	哲多支局	哲西支局
3.9	木	唐松市民センター	—	神郷公民館油野分館	哲多支局	—
3.10	金	唐松市民センター	布瀬地域交流ほっとサロン	神郷公民館油野分館	—	—
3.13	月	福本ふれあいセンター	大佐源流振興館	神郷保健センター	—	—
3.14	火	足立会館（午前） 吉原公会堂（午後） 山村開発センター	大佐源流振興館	神郷保健センター	—	—
3.15	水	山村開発センター	—	—	哲多支局	哲西支局

にいきみ福祉 フォーラム開催



「みんなでつくろう福祉のまち(ひろげよう地域支援の輪)」と題して、全ての障害者を対象とした福祉フォーラムを開催します。障害者福祉に関する意見や、情報交換の機会ですのでお気軽にご来場ください。

- 日時 1月18日(木) 13:00～
- 場所 まなび広場にいきみ小ホール
- 内容・基調講演
・パネルディスカッション
- 主催
新見障害者(児)地域生活支援ネットワーク会議
- 問い合わせ先
社会福祉課社会福祉係
(☎76126)

小児科医師の出前サロン

～知って得する子供の病気対処法～

自分で症状を伝えることのできない子供の病気には、親の不安も増すばかりです。でも対処法を知っておくと不安も減り、安心できる育児につながります。

そこで子供の病気の対処法と保護者の質問にお答えする出前サロンを開催しますので、この機会にぜひご参加ください。

■実施日時

- ① 1月16日(月) 14:30～15:30
- ② 2月9日(木) 14:30～15:30
- ③ 3月23日(木) 14:30～15:30

■場所 保健福祉センター(金谷)

■講師 岡山大学医学部保健学科 教授 小田 慈 氏

■参加料 無料

■申込方法

参加を希望する人は、実施日の一週間前までに、健康づくり課にお申し込みください。



申し込み・問い合わせ先 健康づくり課(☎76129)



市営住宅 入居者募集

市営住宅の入居者を次のとおり募集します。

■入居開始日

平成18年2月1日(木)予定

■申込方法

入居希望者は、1月20日(金)までに、新見支局都市建設課または各支局経済建設課に備え付けの用紙でお申し込みください。
※申し込みに際しては所得制限などがありますので、くわしくは各支局にお問い合わせください。

問い合わせ先

新見支局都市建設課 (☎76131)
大佐支局経済建設課 (☎92113)
神郷支局経済建設課 (☎926113)
哲多支局経済建設課 (☎962113)
哲西支局経済建設課 (☎942113)

■団地名および募集戸数

団 地 名		構造規模	面積	募集戸数	家 賃	その他
市 営 住 宅	南高下45 (新 見)	簡耐平屋建 2DK	34.22㎡	1	4,100円～6,900円	単 身 者 可
特 定 公 共 賃 貸 住 宅	神郷新郷 (神郷釜村)	木造 2 階建 3DK	86.25㎡	1	36,000円 (定額)	単身者不可
	大井野 (大佐大井野)	木造平屋建 1LDK	39.3㎡	2	20,000円 (定額)	単 身 者 可

ま な び 広 場 に い み 主 催

パソコン講座

初めてのパソコン[1月]

- 内容 文字入力的基础、インターネット体験
(3回連続)
- 対象 初めてパソコンに触る人、触ったがよくわからないので再度挑戦してみたい人
- 日時
昼の部 1月18日・19日・20日
10:00~12:00
夜の部 1月25日・26日・27日
18:30~20:30
- 会場 まなび広場にいみ2階パソコン室
- 参加費 1,000円
- 定員 20人(多数の場合は抽選)
- 申込方法 講座名「初めてのパソコン1月」・
昼の部または夜の部、郵便番号、住所、氏名、
性別、年齢、電話番号を記入して、はがきま
たはFAXでお申し込みください。(電話では
受付できません)
- 申込締切
昼の部 1月11日(水)
夜の部 1月18日(水)
- 申し込み・問い合わせ先
〒718-8501 新見市新見310-3
教育委員会生涯学習課
(☎☎6147・FAX☎6120)

市職員採用候補者 試験合格者

新見市職員任用委員会では、来年度の職員採用候補者を決定しましたのでお知らせします。(順不同・敬称略)

■保育士兼事務職

福田 陽子	池本 和代
藤川真奈美	川上 麻理
藤田 真弓	好井 美貴

■消防職兼事務職

藤川 弘希	池田 裕太
-------	-------

かまくらの中で寝たことありますか?

源流自然学校 参加者募集中



自然環境教育の推進と地域活力の向上を目的として、「源流自然学校」を開催します。

今回は、冒険家の辰野勇氏を講師に招き、「辰野勇と行く二子山スノーシュートレッキング&かまくらキャンプ」と題して、豪雪地帯でもある大佐の雪をテーマに、かまくらでの一泊キャンプを行います。初日は全員で作ったかまくらでキャンプをし、翌日は二子山でスノーシュートレッキングを行います。

山頂から一面の銀世界を望む貴重な経験ができますので、ぜひご参加ください。

なお、1日だけの参加も受け付けています。

- 期 日 2月4日(土)~5日(日)
※雨天決行
- 場 所 大佐大井野地域
- 参加費 9,800円
(食事・宿泊・傷害保険料などを含む)
- 参加対象 小学校高学年以上
- 募集人数 20人
- 募集締切 1月29日
- 申込方法
住所、氏名、年齢、性別、生年月日、電話番号を明記し、FAXまたは電子メールでお申し込みください。
- 申し込み・問い合わせ先
大佐支局総務企画課
(☎☎2111・FAX☎2116・
電子メールosa-bo@city.niimi.okayama.jp)

みんなの広場

ご意見をお待ちしています。

提案 & お便り

市

内の簡易水道施設に取り付けてある消火栓の、機能点検が必要ではないかと思えます。そこで、消防署で年一回の機能点検をお願いできませんでしょうか。現在の社会は想定外の事故が多発しております。

(匿名・男性)

答

消火栓は、火災時に初期消火および消防隊の水利として非常に有効なもので、いつでも使用可能な状態に維持管理されていることが必要です。

新見市管内の消火栓は約千六百か所ありますが、その維持管理については、設置した簡易水道組合(地元)が行うことになっていますので、何卒ご理解くださいますようお願いいたします。

なお、消火栓の使用方法などについては、地区単位で消防署にご連絡いただければ、職員が説明に伺います。

■新見市消防本部

●提案&お便りの送り方

- ・今月号で配布した専用紙 または官製はがきに、①提案②住所③氏名④年齢⑤電話番号を書いてお送りください。
- ・専用紙は、折りたたむと封書になります。切手をはらずにポストに入れてください。(今年の3月末まで使用できます)
- ・旧新見市で平成16年度に配布した専用紙は使用できませんので、ご注意ください。
- ・ファックス、電子メールでも受け付けています。ファックス、電子メールも「提案&お便り」係に届きます。

●送付先

- 〒718-8501
新見市新見310-3
新見市役所企画課
「提案&お便り」係
- ・FAX 72-6243
- ・電子メール
idea@city.niimi.okayama.jp

ひとこと

『生涯青春で前進』

すみかわ み え こ

住川 美江子さん [哲西町畑木・54歳・自営業]



初春のお慶びを申し上げます。夢を持ち続ける人は常に青年だと聞きました。

私は今年、五十五歳を迎えます。ゴーゴーで何にでもチャレンジできる年です。

二年前、息子を亡くし、深い悲しみの中、踏まれても踏まれてもけなげに咲く道ばたの小さな花に、強く生きることを教えられて、また地域の人達にたくさん励ましをいただき、生きる優しさを教えてもらいました。

何もない人生が幸せなのではなくて、苦しいことや辛い事に正面から立ち向かっていく事に生きる意味を知り、それを乗り越えた時に本当の充実感を感じることができました。

そして、人は一人では生きていけないし、自然の中で多くの生命と共に生かされています。だから、誰かのために生きる・地域の役に立つ事をしたい、そういう生き方が一番幸福な人生であると思います。

私の好きな言葉は「あした世界が減びても、僕は今、リンゴの樹を植える」です。

これからも生涯青春で、一日一日を大切に生きたいです。

Across Borders 国境をこえて

One of the things that I love most about our planet is the thousands of different cultures. I love Japan's culture, it is so different from Canada's. In Canada, we shake hands, in Japan, you bow. In Canada, people often wear shoes inside, in Japan, this is mostly forbidden. But my favorite part of Japanese culture is the celebration of "Matsuri's".

In most of the "Western World", we celebrate "commercial holidays". These began as spiritual holidays, but now most involve exchanging presents, like Christmas and Valentine's. Children love holidays, because even for the "holiest" of Catholic holidays, Easter, most children get candy. It's really a time when toy companies can make a lot of money.

In Japan, there are very few holidays that people receive gifts. Holidays are mostly about history, respecting ancestors and passing beliefs on to children. Of course, children get money at New Year's, but this also is a family tradition, not one created by toy companies. I hope that Japanese culture will be something that people can experience for many years to come.

Paul Simard

僕が地球上で一番すばらしいと思うことのひとつが、さまざまな文化が存在するという事です。日本の文化は大好きです。カナダではあいさつで握手をしますが、日本ではおじぎをします。また、カナダでは家の中でも靴を履きますが、日本では脱がなければならないなど、かなりの違いがあります。でも、僕が日本の文化で一番好きなのは“まつり”なんです。

多くの“西洋”の国々では、“商業化された祝日”を祝います。これらはもともと宗教的な祝日として始まりましたが、今ではクリスマスやバレンタインみたいに贈り物をする日になっています。子どもたちは祝日が大好きなんです。なぜならカトリックの祝日で最も神聖なイースターでさえ、子どもたちはキャンディーをもらえるからです。おもちゃ企業などが一番儲ける時期ですね。

日本では、贈り物をする祝日はあまりないですね。多くは、歴史的であったり、祖先を敬うものや昔からの信仰などです。もちろんお正月には子どもたちはお年玉をもらいますが、これもまた伝統であって、おもちゃ会社によって作上げられたものではありません。この日本の文化が何年後世に伝えられてほしいものです。

ポール シマード

ポール シマード

カナダ・モントリオール州出身。
外国語指導助手として西方小、上
市小、高尾小、千屋小、神郷北小、
菅生小、福本小、足立小に勤務。



新生新見市初の輝かしい新年明けましておめでとうございます。
田治部を後にして四十有余年の今、思いがけず紙上をお借りして挨拶させていただきます。老後と言える年になり、時折訪れる孫の手をとり、過ぎし日々を静かに回想する昨今となりました。お陰で看護師の仕事がずっと続け人並みに結婚、子育てとその時々を夢中で過ごす事ができたのは、あの雄大なふるさとが支え続けてくれたなあと懐かしさと感謝が沸いて参ります。
幾つになっても故郷に寄せる郷愁と、人との関わりを捨て去ることはできません。幸いにも私には故郷をつなぐ新見の地元新聞があり、事細かい情報の数々に限無く読みふけるその一瞬、そ



東京都目黒区

まつなが しげみ
松永 繁美さん(62歳)

大佐田治部出身
看護師

れはあたかもその地に居るかのような気分になったり、落ち着きと安らぎを覚えたりします。また、毎年新見北高関東支部同窓会総会が行われ、新見よりお越しいただく会長、校長、事務局長からの母校の生情報に触れ合える幸せ。「ああ誰にもふるさとがある。」今日もふるさとの歌を口ずさみ乍ら。
郷里新見の益々の発展をお祈り致します。

北から風の便り南から



●第10通●

親子でふれあい楽しむ

◆親子交流会

12月14日、まなび広場にいみで、幼児と母親ら約81人が参加して「親子交流会」が開催されました。これは新見市愛育委員会と栄養改善協議会が主催して行ったもので、参加者は、用意された紙芝居、輪投げ、お手玉、折り紙、積み木などの遊びを体験しました。最後に全員で手遊びや体操が行われ、親子でふれあえる楽しいひとときを過ごしました。



地域ぐるみで防火意識高める

◆文化財防災訓練

12月17日、豊永赤馬の三尾寺で防災訓練が行われました。1月26日の文化財防火デーを控え、消防や地元住民、文化財関係者が連携を図り、地域ぐるみで防火・防災意識を高めることを目的としています。訓練は周辺の山林から出火し、強風にあおられて三尾寺本堂に延焼するおそれがあるとの想定で行われ、参加した地元消防団員らは、規律正しく素早い動きで消火活動の訓練を行いました。



わら細工で 伝統文化に接する

◆ボランティア探検隊

12月17日、哲多総合センターで、支局管内の小学生が参加して、体験学習が行われました。参加した子どもたちは、本郷地区ふるさと振興会のみなさんから昔ながらのわら細工の手ほどきを受け、正月用のしめ飾り作りに挑戦するなど、伝統文化に接しました。また、会場の哲多総合センターの清掃ボランティア活動も行いました。



高 齢者ともちつきで交流

◆ふれあいもちつき大会

12月12日、刑部小学校と、同校に隣接するひとり暮らし高齢者の共同生活住宅桜田荘で、ふれあいもちつき大会が行われました。この日は5・6年生の児童や、同荘住民など約70人が参加。子どもたちは慣れないきねと臼を使い、4人1組でもちをついていました。つき上がったもちはきな粉やあんこで味付けされ、子どもたちと地区の人たちとで会食が行われました。



自分で打ったそばに大満足

◆そば打ち体験とクリスマスリース作り

12月10・11日の両日、岡山県備北青年の家で、「そば打ち体験とクリスマスリース作り」が行われ、市内外から19家族49人が参加しました。そば打ち体験では、そば道場田舎屋の先生から指導を受けながら、本格的なそば打ちに挑戦しました。参加者たちは悪戦苦闘しながらも自分たちでそばを打ち、湯がきたてを味わって大満足の様子でした。



音楽を通じて 心のバリアフリーを

◆きらめきクリスマスコンサート

12月11日、きらめき広場・哲西で「きらめきクリスマスコンサート」が開かれました。“繋ごう心のラストワンマイル”をテーマに、音楽で心のバリアフリーを図ろうと、幼児学園児から大人まで、音楽愛好家など10団体が出演しました。合唱やオカリナ、ハンドベル、バンド演奏などの見事なステージに、会場からは大きな拍手や手拍子が送られ、コンサートを盛り上げました。

努力の結晶を展示

◆障害者福祉展

12月5日～9日、総合福祉センターで市と新見市身体障害者福祉協会が主催する障害者福祉展が開催されました。これは障害者自身の努力の結晶である作品を展示することで、広く市民のみなさんに障害者福祉に対する理解と認識を深めてもらうことを目的としています。見事な出来映えの作品に、訪れた人たちは感心していました。





綺麗な花を咲かせて

◆ゆずりは城植樹

11月27日、上市の市指定史跡「ゆずりは城」周辺で、ウメやシャクナゲ、ヤマザクラなどの苗木約150本が植樹されました。これは電力会社が環境保全を目的にウメやシャクナゲの苗を市に寄贈したことに伴い、ゆずりは城を守る会と市が行ったものです。この日参加した人たちは、5～6年後には成長した苗木が花を咲かせ、訪れる人を楽しませてくれると思います。

縄文の美を現代に

◆新見市法曾陶芸館を開設

11月26日、旧法曾小学校を改修した「新見市法曾陶芸館（猪風来美術館）」が開館しました。縄文陶芸作家の猪風来氏が同地区の環境に魅せられたことなどから、教育委員会と法曾地域振興会との協議を経て、陶芸活動を生かした地域の拠点として整備するに至りました。元来、法曾地域は法曾焼という焼き物の産地で、同施設は子どもたちの情操教育の場として期待されています。翌27日には、第1回野焼きまつりが開催され、多くの人が縄文陶芸の野焼きに参加しました。



はつらつ健康ひろば

コラム

冬の健康管理



冷たい風が吹き荒れて、寒さが厳しくなる冬。温かい室内で過ごして運動不足になりがちです。体力だけでなく、病気に対する抵抗力も低下する冬は、健康管理についても一層の気配りが必要です。そこで、冬の健康管理のポイントをいくつかあげてみましょう。

温度差に注意

冬の寒さは血管を収縮させて血圧を上げます。また、温度差が大きいと血管の拡張と収縮が急激におこるため血圧の急激な変化につながります。温かい部屋から寒い部屋に移動するときは、深呼吸をすることがお勧めです。深呼吸によって血管の中に酸素がたくさん送り込まれるので、血管への負担が少なくなります。また、衣服を一枚多めに着ることも大切です。

入浴について

寒くなると血液の循環が悪くなり、手足や腰などがいつも冷たいという人は、三十八〜四十度くらいのぬるめのお湯にゆつくり浸かると効果的です。入浴時の注意点は、脱衣所を温かくしてから入浴することです。入浴は身体を清潔にするだけでなく、全身を暖めて血液の循環を良くして、疲労を回復させます。

衣服の選び方

衣服は軽くふつくらとしていて、空気をため込むタイプがお勧めです。空気の層によって体温と外気が遮断され、保温効果が強くなります。厚手のものを一枚着るより、薄手のものを重ね着する方が効果的です。袖、襟、足下などの開口部は小さくて身ごろはゆったりとした形のものがいいでしょう。

食生活について

寒さの深まりとともに、本格的な風邪やインフルエンザのシーズンを迎えますが、それらを寄せ付けない食生活のポイントには、「ムチン」を含んだ食品を積極的に活用することです。

ことです。

ムチンは食物繊維たんぱく質が結合した物質で、特にヌルヌルした食品に含まれます。胃腸などの消化管や目などの粘膜の表面はムチンで覆われていて、粘膜を潤してその損傷を防ぐため、胃や鼻の粘膜も丈夫にして、風邪やインフルエンザにかかりにくくしてくれます。

ムチンを多く含む食品

納豆・オクラ・なめこ・れんこん・長芋・里芋・モロヘイヤなど

料理するときのポイント

◎ムチンは熱に弱いので、あまり長く加熱しないこと。
◎生で食べられるものは、そのまま食べるのがお勧めです。

また、抵抗力を高めるビタミンAやCが豊富な新鮮な野菜やくだものを食べましょう。冷たいものを摂って体温が下がると、免疫も低下しますので、できるだけ温かいものを食べるようにしましょう。

■健康づくり課

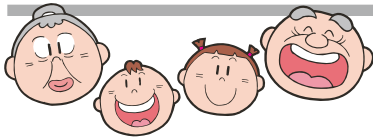
●献血

月 日	曜日	会 場	受付時間	支局
1月21日	土	に い み プ ラ ザ	10:00~12:30 13:30~15:30	新見

*65歳~69歳の方は、60歳~64歳までの間に献血の経験がある人に限られます。

*身分確認ができる物を持参してください。

*詳細は新見市保健事業年間計画表を確認してください。



休日診療

診療時間はいずれも
午前9時から午後5時までです。

【担当病院・医院】

1月1日(日)

新見市	新見中央病院	☎02110
庄原市	日伝医院	☎08477-2-2180
真庭市	金田病院(内・外)	☎0867-52-1191
真庭市	湯原温泉病院(内・外)	☎0867-62-2221

1月2日(月)

新見市	渡辺病院	☎02123
庄原市	こぶしの里病院	☎08477-2-5255
真庭市	勝山病院(内・外)	☎0867-44-3161
真庭市	落合病院(内・外)	☎0867-52-1133

1月3日(火)

新見市	長谷川記念病院	☎03105
庄原市	東城病院	☎08477-2-2150
真庭市	中山病院(内・外)	☎0867-42-0371
真庭市	近藤病院(内・外)	☎0867-44-2671

1月8日(日)

新見市	太田病院	☎02014
庄原市	細川医院	☎08477-2-0054
真庭市	湯原温泉病院(内・外)	☎0867-62-2221
真庭市	イケヤ医院(内)	☎0867-42-0122
真庭市	さくもとクリニック(外)	☎0866-52-4833

1月9日(月)

新見市	新見中央病院	☎02110
庄原市	久岡医院	☎08477-2-2626
真庭市	河本病院(内・外)	☎0867-55-2121
真庭市	谷田医院(外)	☎0867-66-3616

1月15日(日)

新見市	渡辺病院	☎02123
庄原市	こぶしの里病院	☎08477-2-5255
真庭市	勝山病院(内・外)	☎0867-44-3161
真庭市	杉山医院(内)	☎0867-42-5012
真庭市	廣恵医院(内)	☎0866-52-2403

1月22日(日)

新見市	長谷川記念病院	☎03105
庄原市	東城病院	☎08477-2-2150
真庭市	金田病院(内・外)	☎0867-52-1191
真庭市	中井医院(内)	☎0867-44-4848

1月29日(日)

新見市	太田病院	☎02014
庄原市	瀬尾医院	☎08477-2-0023
真庭市	近藤病院(内・外)	☎0867-44-2671
真庭市	まにわ整形外科(外)	☎0867-42-7300
真庭市	牧原医院(外)	☎0866-52-2469

【内科】

高尾高西町・介護老人保健施設「くろかみ」内
新見市休日・準夜間診療所(☎0334)

【歯科】

新見水舟・市役所前
新見市休日歯科診療所(☎08083)

準夜間診療

高尾高西町
介護老人保健施設「くろかみ」内
新見市休日・準夜間診療所
(☎0334)

診療日:月～金曜日(祝祭日を除く)
診療時間:19時～21時 診療科目:内科、小児科

検診日程

●ひよこクラス

月 日	曜日	会 場	時 間
1月16日	月	保健福祉センター	13:30～15:00

対象者 2歳未満の乳幼児をもつ保護者、妊婦さん
内 容 座談会
用意するもの 母子手帳

●離乳食教室

月 日	曜日	会 場	受付時間	対 象 児
1月23日	月	保健福祉センター	13:00～13:30	平成17年5・6月生

●乳児健康診査

月 日	曜日	会 場	受付時間	対 象 児
1月17日	火	保健福祉センター	13:00～13:30	平成17年3月生

●1歳6ヶ月児健康診査

月 日	曜日	会 場	受付時間	対 象 児
1月30日	月	保健福祉センター	13:00～13:30	平成16年6月生

●2歳6ヶ月児歯科健康診査

月 日	曜日	会 場	受付時間	対 象 児
1月10日	火	保健福祉センター	13:00～13:30	平成15年6月生

●3歳児健康診査

月 日	曜日	会 場	受付時間	対 象 児
1月18日	水	保健福祉センター	13:00～13:30	平成14年6月生

●健康相談

月 日	曜日	会 場	受付時間	支 局
1月6日	金	哲西支局市民福祉課相談室	9:30～15:00	哲西
1月11日	水	おおさ総合センター		大佐
1月20日	金	神郷保健センター		神郷
1月24日	火	哲多総合センター		哲多

*なお、新見支局(新見市保健福祉センター)では、随時行っています。

雪合戦大会参加者募集

第十回岡山県雪合戦大会・
第五回西日本ジュニア大会の
参加チームを募集します。

雪合戦とは、敵チーム全員
に雪球を当てるか、敵陣にあ
る旗を奪うかで勝敗を決める
新しいスポーツです。

白銀の世界で、ヘルメット
に身を固め雪球を投げあう、
そんな楽しい時間を過ごして
みませんか。スポーツとして
の雪合戦は、きっとあなたを
とりこにします。

■日時 二月十二日(日)
■場所

新見千屋温泉いぶきの里
ふれあい広場

■参加資格 小学生以上
■チーム編成

監督一人、競技者九人以内
※ただし試合出場者は七人

■募集チーム(先着順)

○一般の部：四十チーム

○レディースの部：十チーム

○西日本ジュニア大会の部

(小学生のみ)：二十チーム

■締め切り 一月二十日(金)

■参加料

一般・レディース・ジュニ
アの部ともに一万円

■申込方法

新見千屋温泉いぶきの里か
市商工観光課に備え付けの
申込用紙に記入し、参加料・
昼食代(一人六百円)を添
えて現金書留でお申し込み
ください。

■申し込み・問い合わせ先

〒七七八〇一〇四 新見

市千屋花見一三三六―五

新見千屋温泉いぶきの里内

岡山県雪合戦連盟事務局

(☎02020)

新見市PTA連合会主催
映画会開催

新見市PTA連合会では、

二十一世紀の地域社会を担う
新見地域の青少年が心豊かに
育つよう、青少年健全育成推
進の一環として映画会を開催
します。お誘い合わせの上、
ぜひご来場ください。

■日時 一月二十九日(日)

十三時二十分開場

■場所

まなび広場にいみ大ホール

■上映作品

「不良少年の夢」

■作品紹介

高校に編入してきた不良少
年義家弘介が、教師や大人
たちと出会い、十年後母校
の教師として再び帰ってく
るという実話をもとに描か
れた作品。著書「ヤンキー
母校に生きる」がテレビド
ラマ化されている。

■対象

市内各小中学校の児童・生
徒・保護者・教職員・一般
希望者

■入場料金 無料

■問い合わせ先

新見市PTA連合会事務局
(思誠小学校・上原☎020
041)

まなび広場にいみ

喫茶コーナーテナント募集

市では、まなび広場にいみ

内喫茶コーナーの営業テナン

トを次のとおり募集します。

■目的

まなび広場にいみでの学習
者の憩いの場として開放し、
来客者に飲み物および軽食
のサービスを行うとともに、
施設内で行われる学習講座
やイベントの際の飲み物の
サービスをともに有料で提
供する。

■施設の概要

まなび広場にいみ生涯学習
センター二階南側に位置し、
ふれあい広場に面する。

【喫茶室】六十二・四五㎡

【厨房】二十二・八〇㎡

【合計】八十五・二五㎡

■応募資格

市内に在住し、飲食サービ
スに興味があるか、経験の
ある人。あわせて文化・芸
術などに興味がある人。

■説明期間

二月一日～二月十日

■募集期間

二月十二日～二月十八日

■契約期間

平成十八年三月一日～平成
十八年三月三十一日および

継続して平成十九年三月三十一日まで

■営業テナント条件

【賃貸借契約の履行】

賃貸借料、保証人などの制度

【サービス内容】

飲食のサービス、憩いの場として開放

■募集要項

募集要項および営業テナント申込書は、教育委員会生涯学習課にあります。

■応募方法

営業を希望する人は所定の営業テナント申込書を提出し、選考委員会で審査を受けていただきます。

■問い合わせ先

教育委員会生涯学習課
(☎26147)

至道高校からのお知らせ

平成十七年度末をもって、岡山県立至道高校は、五十六年の歴史に幕を下ろします。この間、北房を中心に新見市民のみなさんにもご支援、ご協力をいただきました。

この度、閉校記念懇親会「想い出を語る会」を開催します。新見市内にお住まいで、参加を希望する校友会員の人は、至道高校までお問い合わせください。

ださい。

■日時

三月四日 十三時～十五時

■場所 至道高校武道場

■対象 至道高校校友会員

■参加費 千円

■申込方法

電子メール・はがき・FAXに、住所・氏名・卒業年度・電話番号を明記し、お申し込みください。

■申込締切 一月三十一日

■申し込み・問い合わせ先

〒七一六―一四三三 真庭市下皆部二八九

岡山県立至道高等学校「想い出を語る会」係

(☎0866152122)

11・FAX 086615

213135・電子メール

sidohs02@pref.okayama.jp)

p)

学校給食

物資納入業募集

平成十八年度の、新見学校給食センター給食物資納入のための登録業者を募集します。希望する人は手続きについてお問い合わせください。

■申請受付期間

一月十六日～二月末日

■問い合わせ先

新見学校給食センター

(☎71349・FAX 728688)

神郷支局管内

第3回介護者の集い

新見市社会福祉協議会神郷支所では、上市の「げんき広場にいみ」での筋力アップトレーニング体験と、神郷下神代の「ヘルパーステーションオレンジ・デイサービスセンターオレンジ」の見学を行います。

神郷支局管内にお住まいで、参加を希望される人は、神郷在宅介護支援センターにご連絡ください。

■日時

一月二十日 十時～十五時

※九時三十分までに、神郷地域福祉センターにご集合ください。また、送迎を希望する人は担当者にご連絡ください。

※当日欠席される場合は、八時三十分までに神郷地域福祉センターへご連絡ください。

■対象者

神郷支局管内で、在宅で高齢者を介護している家族

■参加費

昼食代実費

■申込締切

一月十三日

■問い合わせ先

神郷在宅介護支援センター

(☎6677・峠田、前田)

(☎6677・峠田、前田)

まちのすがた

◆面積 793.27km²

◆ひとのうごき ()内は前月比較

総人口 36,878人 (-42人)

男 17,567人 (-27人)

女 19,311人 (-15人)

出生…22人 転入…40人

死亡…42人 転出…62人

世帯数 12,728世帯(+17世帯)

(平成17年11月末日現在)

市税・保険料

■市県民税<4期>

■国民健康保険税<7期>

■介護保険料普通徴収

(納付書で納める場合)<7期>

■納付期限 1月31日

蚊家・大田へき地保育所 入所についてのお知らせ

市報にいま十二月号「新見市立保育所入所児募集」で、へき地保育所については一月号で募集条件をお知らせする予定でしたが、都合により、後日関係地域に募集案内を送りして周知しますので、ご了承ください。

■問い合わせ先

社会福祉課社会福祉係
(☎76126)
哲多支局市民福祉課
(☎962112)

県立博物館企画展 「岡山の年中行事」

岡山県立博物館では、企画展として「岡山の年中行事ー正月・豆まき・おひなさまーく春をみる・あそぶー」を開催しますので、ぜひご来場ください。

■会期 一月五日～二十九日
■開館 九時三十分～十七時
■休館日
一月十日、十六日、二十三日

日

■入館料 二百円

※ただし、六十五歳以上と中学生未満は無料

■問い合わせ先

岡山県立博物館
(☎086-272-1114)
49・<http://www.pref.oka.yama.jp/kyoiku/kenhaku/hakubu.htm>

電気通信サービスモニターを募集しています

総務省では、より良い電気通信サービスを安心して利用できるよう、利用者の視点に立った電気通信行政の推進に取り組んでいます。

電気通信サービスに関する利用者の意見や要望を幅広くお聞かせいただき、今後に反映させるため、平成十八年度電気通信サービスモニターを募集します。

■活動内容

【全員】
総務省が実施するアンケート調査（年二回実施予定）への回答

【別途出席をお願いする人】
各地域で総務省が開催するモニター会議（年一回開催予定）への出席

■募集人員

中国地方で百人（全国で千人程度）

■委嘱期間

平成十八年四月一日～

平成十九年三月三十一日

■応募資格

電話・インターネットなどの電気通信サービスに関心がある満二十歳以上の人。
※ただし、総務省および電気通信事業者に勤務経験のある人やその家族を除く。

■応募方法

はがき、FAX、電子メールで、次の事項を記載の上ご応募ください。

（住所（郵便番号）、氏名（フリガナ）、電話番号（携帯電話可）、メールアドレス、年齢、性別、職業、応募の動機、募集を知った媒体）

■募集期間

一月十六日～二月二十日

※当日消印有効

■選考結果の通知

選ばれた人には、三月末までに通知しますが、その他人には通知しませんのでご了承ください。

■応募・問い合わせ先

〒730-0879 広島市中区東白島町一九一三六
中国総合通信局情報通信部
電気通信事業課
(☎082-222-1337)
77・FAX 082-1502-18152・電子メール
chugoku-monitor@rft.soumu.go.jp

「登下校、子どもを見守る1分間」 市民のみなさんの力をお貸しください！



昨今、子どもたちの安全を脅かす事件が毎日のように報道されています。新見市においても、登下校中の子どもへの声かけ事案が発生しています。

このような中、学校・幼稚園などは、地域関係機関・諸団体の協力を得ながら、登下校時の安全確保のための取り組みを行っています。また、市民のみなさんにより、登下校中の子どもたちを見守り、「おはよ

う」「お帰り」など、声かけをしていただくことにより、子どもたちにとってさらに安全安心な地域環境を築きあげることができるものと考えます。

「登下校、子どもを見守る1分間」を合い言葉に、冬休みも含め、みなさんのお力をお貸しください。

■問い合わせ先 教育委員会学校教育課 (☎76146)

1/1	日	
2	月	●新見市成人式 まなび広場にいみ 13:00～
3	火	●第29回新見市新春ロードレース大会 まなび広場にいみ 8:30～(受付)
4	水	●心配ごと相談 総合福祉センター 10:00～15:00
5	木	
6	金	
7	土	
8	日	●新見市消防出初式 まなび広場にいみ 10:00～
9	月	
10	火	●心配ごと相談 きらめき広場・哲西 10:00～15:00 ●ステップアップ講座(14日まで) まなび広場にいみ 18:30～20:30
11	水	●心配ごと相談 総合福祉センター 10:00～15:00
12	木	●交通事故相談 山村開発センター 10:30～15:00
13	金	●ひとり暮らし・高齢者の集い 保健福祉センター 10:00～15:00
14	土	●これからのライフスタイル講座 まなび広場にいみ 14:00～16:00
15	日	●男女共同参画社会づくりフォーラム まなび広場にいみ 13:30～16:00
16	月	
17	火	
18	水	●心配ごと相談 総合福祉センター 10:00～15:00 ●法律相談(要予約) 総合福祉センター 10:00～15:00 ●合同相談 総合福祉センター 10:00～15:00
19	木	
20	金	
21	土	
22	日	●第37回新見市長杯スキー大会・第3回新見市長杯 スノーボード大会 いぶきの里スキー場 8:00～ ●新見市スポーツ少年団交歓交流大会 新見市民体育館 10:00～
23	月	
24	火	
25	水	●心配ごと相談 総合福祉センター 10:00～15:00
26	木	
27	金	
28	土	●これからのライフスタイル講座 まなび広場にいみ 14:00～16:00
29	日	
30	月	
31	火	
2/1	水	●心配ごと相談 総合福祉センター 10:00～15:00
2	木	
3	金	●ひとり暮らし・高齢者の集い 保健福祉センター 10:00～15:00
4	土	●源流自然学校「辰野勇と行く二子山スノーシュー トレッキングとかまくらキャンプ」(5日まで) 大井野地域 12:30～17:00
5	日	
6	月	
7	火	●心配ごと相談 きらめき広場・哲西 10:00～15:00

新見美術館(☎7851)

休館日:1/1～4、10、16、23、30、31



富岡鉄斎
《十六羅漢像図》

新見美術館コレクション大公開の第二弾は、富岡鉄斎を中心に、幕末、明治、大正に活躍した京都画壇の作家を紹介します。江戸時代、円山応挙、呉春(ごしゅん)らの出現により、円山四条派と呼ばれる画派が生まれ、それまでの京都画壇を一変させました。明治に入ると竹内栖鳳らにより日本画の近代化が図られ、大正には、小野竹喬ら新進作家たちにより絵画革新運動が起こるなど、画壇に新風を吹き込みました。こうした流れをよそに、終始画壇の外にあ

りながら、独自の活動を続けたのが鉄斎です。本展では、鉄斎と京都画壇の作家たちの作品二十五点により、京都画壇の流れをたどります。また、同時開催は、新市誕生を記念して、新見市ゆかりの作家にスポットをあてる第二弾を開催します。一九九四(平成六)年、「原爆の図」で知られる丸木位里・俊夫妻が来新記念に描いた「飛天」や、木工芸家の第一人者で県重要無形文化財保持者である森田翠玉氏の作品など館蔵作品を中心に、日本画、洋画、彫刻、工芸、書など二十六点を通し、新見ゆかりや美術館開館後の新見市の美術振興に寄与した二十五作家とその功績を紹介し

●観覧料 一般…400円 中高生…250円 小学生…150円

※ただし、市内の小中学生は無料

新見美術館

1月29日(日)
まで開催

新見美術館開館15周年記念 コレクション大公開パートⅡ

鉄斎と京都画壇の作家たち

同時開催 郷土ゆかりの作家たちⅡ(現代編)

図書館

●新見図書館(☎2826)

新春マジックショー

1月7日(土) 14:00～

演技者:福山奇術倶楽部 岩村高雄氏

こども映画会

1月14日(土) 14:00～

アニメ「力太郎(ちからたろう)」

ブックスタート

1月17日(火) 乳児健康診査時

会場:保健福祉センター2階

対象:乳児(平成17年3月出生児)と保護者

こどもお楽しみ会

1月24日(火) 15:00～

腹話術と映画会

人形アニメ「ペロだしチョンマ」

「福は内 鬼は外」

2月4日(土) 14:00～

絵本の読み聞かせ・紙芝居・

やさしい工作など

子どもの読書を考える会

2月4日(土) 15:00～

●休館日 1日～4日・10日・

16日・23日・27日・30日

※新見図書館では、おはなし実

演ボランティア、紙芝居・影絵

などの制作ボランティア、図

書などの整理ボランティアを募集しています。また、新見ブックスタートの会の会員を募集しています。くわしくは新見図書館までお問い合わせください。

●哲西図書館(☎2110)

こども映画会

1月14日(土) 14:00～

「ななみちゃん①②」

おはなし会

読み聞かせと簡単な工作

1月28日(土) 14:00～

●休館日 1日～3日

※図書館利用者のための乳幼児

一時あずかりは、第1・第3火

曜日の10:00～12:00

●おおさ総合センター図書コーナー

(☎2304)

●休館日 毎週月曜日(9日は

開館) 1日～4日・10日

●やまびこ広場神郷図書コーナー

(☎6110)

●休館日 毎週木曜日・1日～5日・31日

HAPPY
BIRTHDAY!
おたんじょうび
おめでとう!!



わた なべ ま い
渡辺 真生ちゃん
(金谷／1・2生)



なか ま り あ
中 茉莉亜ちゃん
(哲西町矢田／1・6生)



たかも り い く み
高森 郁美ちゃん
(草間／1・6生)



とみ や よし の
富谷 佳乃ちゃん
(長屋／1・7生)



かわ か み あ い か
川上 愛加ちゃん
(哲多町本郷／1・10生)



たけも と し ょ う へ い
竹元 鐘平ちゃん
(哲多町本郷／1・12生)



あさくら ほくと
朝倉 北斗ちゃん
(哲西町大竹／1・13生)



みや は ら そ ら
宮原 蒼空ちゃん
(哲多町本郷／1・27生)



あさ い ゆ う さ く
浅井 優作ちゃん
(哲西町大竹／1・29生)



せ の お ゆ う と
妹尾 勇翔ちゃん
(哲多町宮河内／1・30生)



たけも と か ず ま
竹本 和真ちゃん
(新見／1・30生)

★2月号の「ハッピーバースデー」コーナーに掲載希望の人は、1月16日までに企画課企画広報係(☎6114)にご一報ください。

市報 にいみ

平成18年1月1日 No.10

■編集／新見市報道委員会

■発行／新見市

〒718-8501 新見市新見310-3

新見市総務企画部企画課

☎6114

■ホームページ

<http://www.city.niimi.okayama.jp/>

携帯電話でもご覧になれます



今月の表紙



●げんき広場にいみオープン

12月10日、上市地内に建設していた健康増進施設「げんき広場にいみ」がオープンしました。温水プールではウォーキングや水泳を楽しんだり、トレーニングルームでは体力強化など、自分にあったプログラムで進めることができることから、毎日多くの人々が訪れて健康づくりに励んでいます。



こ ち ら
編 集 室

●あけましておめでとうございます。今年も「市報にいみ」をよろしくお願いいたします。さて、1月9日は成人の日です。(新見市の成人式は1月2日) 今月号では、5人の新成人にふるさとの好きなところについて語っていただきました。現在、新見で暮らしている人や、故郷を離れてがんばっている人などさまざまですが、みなさんがふるさとを愛する気持ちをいつまでも持ち続けていただきたいものです。